

## 被爆 70 年を生きて 「被爆者として言い残したいこと」調査

広島、長崎に原爆が投下されてから 70 年が経ちました。「ふたたび被爆者をつくらない」という私たちの願いは、世界中で数多くの人々の共感を呼び、核兵器廃絶を求める幅広い行動へと人々を導いてきました。

しかし、原爆投下を肯定する考えは米国やアジア諸国では根強く、必ずしも「絶対悪」であるとの共通認識が確立されているとはいえません。それどころか、再び核兵器が使われかねない状況です。日本も再び戦争のできる国になろうとしています。

こうした不穏で危機的な状況の中で、私たちは被爆者一人ひとりが経験したこと、考えてきたことを、あらためて日本と世界を担う人々に訴え、残していく必要があります。

この「被爆者として言い残したいこと」調査は、被爆者一人ひとりの声を記録として残し、次世代の人々に活かしてもらうためのアンケートです。ご自身で記入されても、他の方に聞きとっていただいてもけっこうです。〈原爆地獄〉を体験し、その後の 70 年を生きてきた被爆者として、今これだけは言い残しておきたい、訴えたいという思いのたけを、ぜひ届けてください。ご記入いただいたアンケートはノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会にて保存し、被爆者の思いを将来にわたって人々に伝えていきます。

2015.8 日本原水爆被害者団体協議会／ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会

### ■ 基本事項 (太線の枠内に記入し、当てはまる数字に○をつけてください)

記入年月日	年 月 日	整理No.	—
ふりがな 氏 名	性 別		1. 男 2. 女
生 年 月 日	明・大・昭 年 月 日 (被爆時年齢 歳)		
現 住 所	TEL FAX		
被 爆 地	1. 広島 2. 長崎 3. 両市		
手 帳 区 分	1. 直爆〔距離 km〕 2. 入市 3. 救護 4. 胎内 5. 健診受診者証 6. 持っていない		
調査結果の 公表の可否	1. 実名で可 2. 匿名であれば可 3. 匿名であっても不可		
追加調査の可否	あらためて詳しくお話を聞くことができますか〔1. 可 2. 不可〕		

<返送先> 日本被団協 (住所)〒105-0012 東京都港区芝大門 1-3-5 ゲイブルビル 902  
(電話)03-3438-1897 (FAX)03-3431-2113

<返送期間> 9月末日までにお送りください。

【ご記入にあたって】

- \* 2～3 ページの各問についての回答は、選択項目の中からご自身の思いに近いものに○をつけたうえで、なるべくご自身のことばで自由にご記入ください。
- \* 書ききれない場合は別紙を付けてください。またご自身で書いた手記等をお持ちの方は一部お譲りいただければ幸いです。

(1)「あの日」やその直後のことで、70年経っても忘れられないこと、恐ろしく思っていること、心残りなことはどんなことですか？ [いくつでも選択可]

1. 人々の死んでいる姿、死に方のむごさ
2. 苦しんでいる人たちの姿
3. 家族や身近な人たちの死
4. 自分自身の火傷や負傷
5. 水や助けを求める人たちに何もしてあげられなかったこと
6. 生き残ったことの後ろめたさ
7. 何をみても無感動だったこと
8. 記憶にない
9. その他[ ]

とくに忘れられない光景や、それを見て感じたことを具体的に書いてください。

(2)70年間被爆者として生きてきて、とくにつらかったのはどんなことでしたか？[いくつでも選択可]

1. 家族を失った
2. 病気がちになった
3. 自分の健康がいつも不安
4. 就職・仕事が思うようにならず
5. 進学や学業が思うようにならず
6. 結婚・家庭生活が思うようにならず
7. 子供や孫の健康・将来が不安
8. 被爆をかくして生きてきた
9. あの日のできごとが心の傷になって残った
10. とくにつらいことはなかった
11. その他[ ]

その内容を具体的に書いてください。

(3)この70年間、あなたの生きる支えや生きがいとなってきたのはどんなことですか？

[いくつでも選択可]

1. 安定した生活をきずく
2. 家族に囲まれてくらす
3. 仕事に生きる
4. 趣味に生きる
5. 宗教に生きる
6. 地域や社会のために役に立つ
7. 原爆で亡くなった人の霊を慰める
8. 原爆にまけないようにする
9. 被爆の実相を語りつぐ
10. 被爆者の仲間のために役に立つ
11. 国家補償制度の実現を求めて生きる
12. 核兵器をこの地球からなくすために生きる
13. その他[ ]

(前頁の続き) とくに生きる支えや生きがいとなってきたことを具体的に書いてください。

(4) 被爆者として、今とくに心にかかっていることはどんなことですか? [いくつでも選択可]

1. 自分の健康
2. 自分と家族の生活
3. 子や孫の健康
4. 原爆で死んだ人たちのこと
5. 広島・長崎が忘れ去られてしまうのではないか
6. また核兵器が使われるのではないか
7. 日本がまた戦争する国になるのではないか
8. 原発など、核の被害が広がっているのではないか
9. その他 [ ]

その内容を具体的に書いてください。

(5) 今、被爆者として日本政府に対して言いたいことについてお聞きします。

① 日本政府は原爆を含む戦争被害について、一般国民はがまん(受忍)すべきだと言ってきました。

あなたは原爆の被害をがまんできますか?

1. がまんできる
2. がまんできない
3. 分からない

その理由を書いてください。

② 再び被爆者をつくらないために、今、日本政府に求めたいことは何ですか?

[いくつでも選択可]

1. 原爆被害への国家補償を行う
2. 被爆の実相をしっかりと調査し、世界に広める
3. 米国の核の傘(核抑止力)に頼らない
4. 被爆国として核保有国に核兵器廃絶をせまる
5. 日本の戦争責任を認め、その犠牲となったアジアの人々に謝罪・補償をする
6. 憲法9条を厳守し、戦争によらない国づくりをすすめる
7. その他 [ ]

(前頁の続き) 日本政府へのあなたの思いを自由に書いてください。

(6) 今、被爆者として言い残したいことについてお聞きます。

① 戦争と原爆を経験し、70年間を生きてきて、被爆者として言い残したいことは何ですか。自由に書いてください。

② すでに亡くなった被爆者はその思いを今語るできません。あなたの家族や友人、先輩などが話したことや行動したことで次世代に伝え残したいことがあれば、代わりに書いてください。

(7) 被爆者の会(被爆者団体)についてお聞きます。

何らかの被爆者の会(被爆者団体)に入っていますか?

1. はい〔会・団体名： 〕 2. いいえ

「1. はい」と回答された方に、さらにお聞きます。

会(団体)に入って良かったと思うことや会に希望していることなどあれば、自由に書いて下さい。

〔付：被爆者ご自身が記入しなかった場合〕

記録者氏名	<input type="text"/>	被爆者本人との関係	<input type="text"/>
連絡先	<input type="text"/>		
聞きとり、記録をした感想をひとこと： <input type="text"/>			